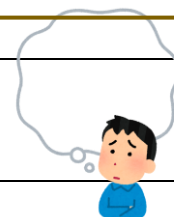


学校や共同実施で、こんなことはありませんか……？

- ・何のためにやっているのか分からない。何をしたらよいのか分からない……
- ・「今の話し合いは何だったの？」ということがよくある……
- ・取組が成功したのか、失敗したのかどうやって測ったらいいのか分からない……



そんなあなたに、『GTO™』を使った体験学習をおすすめします！！

東海事務研では平成27年度から研究プロジェクトを組織し、全国公立小中学校事務研究大会（千葉大会）の分科会発表に向けて研究を進めてきました。去る平成30年8月2日、千葉市の青葉の森芸術文化ホールにおいて、『チーム学校』の実現に向けた『協働』の創生 — 『チーム東海』、想いをひとつに！ 次代につなぐ組織的な学校事務の展開に向けて— をテーマに、事務職員が組織的に学校経営・運営にかかわり、学校のマネジメント機能を強化していく上で必要な協働の創生に向けた提案を行いました。

分科会のなかで、助言者の南山大学 池田 満 准教授とともに「GTO (Getting to Outcomes) ™」という新たなツールを使い、学校の課題やニーズを意識しながら、目標の設定・取組内容・評価指標の設定までを一体的に計画する体験学習を実施しました。取組の展開を論理立てて考え、評価方法や根拠に基づく改善を考えることで、組織の中での「協働」の在り方や学校運営チームの一員として事務職員が果たす役割を見出す機会にできたのではないかと考えています。

そして、研究プロジェクトでは、これまでの研究の成果を還元できればと考えています。

先の質問に共感した方はいらっしゃいますか？ 1つでも当てはまる方に、是非『GTO™』を使った体験学習をおすすめします！！

「GTO™」を使った体験学習には、こんな効果が！！

目標→取組→評価までの
論理的なつながりを「見える化」

メンバーのつまずきや合意を確認

チーム全体で話し合いが深まる

自分たちの取組がうまく進んだ
わかる

どこが上手くいっていないのか
わかる

自分たちで改善できるのかわか
る

やる気になる

興味を持たれて、御自分の地区などで「GTO™」というツールの体験や「GTO™」を使った実践を検討される場合は、次の3つのStepの順にお手伝いをさせていただきたいと考えています。（裏面へ続く→）

～研究プロジェクトチームは、あなたの「変えたい！」を支援します！

Step1 『GTO™』ってなんだろう・・・？

興味を持たれたあなたに、『GTO™』の概要を東海事務研研究プロジェクト員（平成31年度以降は東海事務研 研究部）が概要をお伝えします。実際に研究に携わってみて『GTO™』は学校現場で必ず役立つと考えます。まずは、お気軽に御連絡ください。※連絡先は最下部に記載

Step2 『GTO™』を使った体験学習の研修会の実施を支援します！！

STEP1を聞いて、実際に「やってみたい！」と思ったあなたには、その研修を支援します！

- ・全国千葉大会 分科会でを行った体験学習や提案を、あなたの地区でも実施します！
- ・『GTO™』を使った体験学習の研修会の企画や内容を一緒に考えます！
- ・研究プロジェクトでの経験を活かし、体験学習のコーディネータを実演します！
- ・東海事務研研究プロジェクトが、第50回記念全国公立小中学校事務研究大会（千葉大会）の第2分科会で使用した「GTO™」関係資料（ワークシートなど）や企画書、司会進行のシナリオなどの「体験学習セット」を提供します！

Step3 講師の先生を御紹介します！！

最後に、専門の先生を御紹介いたします。御紹介に際しては、研究プロジェクトが仲介することもできますので、御希望の際は御連絡ください。

これまでの研究や実践から、「GTO™」について理解している専門家の支援（TA:テクニカル・アシスタントによる技術支援）を受けながら実施した方が、取組が成功しやすいことが示されています。

南山大学 人文学部心理人間学科 准教授 池田 満 氏

<プロフィール>

コミュニティ心理学、プログラム評価をご専門とされており、教員が元気に働ける学校・職場づくりや、放課後の子どもたちへ豊かな体験を提供する事業を行う NPO の事業評価など、心理・社会的問題の解決と予防を目指すプログラムの開発、評価の理論と方法について、実践を通じた研究をされています。

全国千葉大会では、学校現場や私たち事務職員組織の関係性を発達、成長させていくための手法について御講演や体験学習など分科会全体に渡って御助言いただきました。

<学校事務との関わり>

- ・第50回記念 全国公立小中学校事務研究大会（千葉大会） 第2分科会 助言者
- ・平成30年度 東海地区公立小中学校事務研究会 研修会 講師
- ・平成30年度 静岡県教育研究会 事務研究部 第1回事務研究部拡大研究推進委員会 講師

【体験者の声（静岡県教育研究会 事務研究部 拡大研究推進委員会より）】

- ・ 事前にワークシートを作成ということで難しく考えていたが、先生の講話、解説を聞いたらシンプルに考えていいんだと思った。今後の業務改善でワークシートを活用できればいいなと思います。
- ・ 取組を行う際の手順について、筋道を立てて分かりやすく解説していただき、とても勉強になりました。他のみなさんのシートも大変参考になりました。今後活かしていきたい。



【御連絡は、お近くの研究プロジェクト員まで】

支部	氏名	所属	電話番号	e-mail
愛知	鷲尾 準一	稲沢市立国分小学校	0587-36-2119	j-washio@inazawa-aic.ed.jp
岐阜	高木 敦司	川辺町立川辺北小学校	0574-53-2885	c30927@mx.gifu-net.ed.jp
岐阜	水尻 正博	岐阜市立市橋小学校	058-271-5046	gisyo30@ichihashi-e.gifu-gif.ed.jp
静岡	齋竹 雅輝	湖西市立新居小学校	053-594-0058	araie-kjl@city.kosai-szo.ed.jp
静岡	黒田 麻莉	掛川市立第二小学校	0537-22-3258	office@kake2.ed.kakegawa-net.jp

（上の内容は平成30年度のもので、平成31年度以降は東海事務研 研究部まで御連絡ください。）

※スケジュール等によっては、日程調整が難しい場合もございます。御承知の上、御連絡ください。

「Getting to Outcomes™」及び「GTO™」はサウスカロライナ大学とRANDの共同所有商標です。